

平成 28 年

第11回教育委員会会議録

(開会 平成28年10月24日)

(閉会 平成28年10月24日)

岐阜県可児市教育委員会

平成28年10月24日午前9時00分開会

会場：市役所4階第3会議室

出席委員

竈橋義朗君（教育長）

小野口裕子君（教育委員）

星野京子君（教育委員）

生駒隆昌君（教育委員）

丹羽千明君（教育委員）

説明のために出席した者

長瀬治義君（事務局長）

梅村高志君（学校教育課長）

山口好成君（学校給食センター所長）

川原淳一君（教育研究所主任指導主事）

渡邊かおり君（学校教育課学校支援係）

細野雅央君（教育総務課長）

川合 俊君（文化財課長）

今井竜生君（学校教育課主任指導主事）

桂川辰也君（学校教育課指導主事）

高木美和君（人づくり課専門対策監）

出席委員会事務局職員

石原雅行君（教育総務課総務係長）

本田雄太君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①報告第9号 可児市学校給食センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱について
（原案可決）

②議案第22号 平成28年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて
（原案可決）

③議案第23号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

④議案第24号 可児市教育委員会表彰規則に基づく被表彰者の決定について（一部
修正し可決）

6 各課所管事項

7 委員からの提案協議事項

8 その他

9 閉会

開会の宣告

- 教育長（笹橋義朗君） おはようございます。

それでは、ただいまより第11回教育委員会会議を開催させていただきます。よろしくお祈りします。

定足数につきましては、これを満たしておりますので、今回の会議は成立するという
ことで、よろしくお祈りします。

前回会議録の承認

- 教育長（笹橋義朗君） まず、前回の会議録の承認を行います。
- 教育総務課長（細野雅央君） 特に変更ございません。よろしくお祈りします。
- 教育長（笹橋義朗君） 今、報告により変更はなしということなので、そのようにさせていただきます。

教育長報告

- 教育長（笹橋義朗君） 次に、教育長報告ということでございます。

まず、この10月3日に、今見えますが、生駒委員に市長のほうから辞令を交付されました。任期4年ということで、またこれから4年よろしくお祈りいたします。

それから、瀬田幼稚園、小・中学校で9月から行われておりました運動会、10月15日に春里小、南帷子小が終わりました。全てトラブルもなくよかったなあと思っております。春里、南帷子につきましては大変いい天気、秋晴れで、これが運動会なのだなあというような感じがしました。

当日、地区の中体連主催の駅伝競走大会がありまして、富加町のほうで行われました。これもトラブルなく終わり、中部中の男子が優勝、蘇南中の女子が優勝ということで、よく頑張ってくれたなというふうに思います。

それから、10月8日、9日で花フェスタのほうで、「山城に行こう」ということで東濃地区の山城も含めて山城のフェスティバルが行われました。兼山、久々利、今の城を守るための3団体がボランティアとしてこれまで活躍していただいております。今後ともよろしくお祈りしますというようなことで、皆さんに紹介し、これからは山城の振興を図っていきたいということで、大変盛大に終わりましたので報告をいたします。

それから、10月13日、14日で「随縁に集う」ということで、花フェスタの茶室のほうで桃山陶の聖地をテーマに、講演と食事と茶会ということで行われました。これも2日間にわたってたくさんの方においでいただきまして、桃山陶の聖地のPRができたかなあというふうに思っております。

以上、主なことについて御報告をさせていただきました。

教育委員報告

- 教育長（笹橋義朗君） 次に、教育委員の報告でございます。
- 教育委員（小野口裕子君） おはようございます。

この1カ月の間では特別な行事といたしましては、やはり先ほどおっしゃいました南

帷子小学校と春里小の運動会がございまして、そちらのほうを参観させていただきました。

南帷子小学校のほうでは、人数は本当に少なくなっているんですけども、それに負けないぐらいの大きな声で子供たちが頑張ってくれていました。入場行進なども、今少なくなっているんですが、南帷子ではそれがきちっと行われていて、開会式、閉会式なども起立した状態で行われて、とてもいい雰囲気で行われていたのが印象的でした。

また、春里小学校のほうでは、とても団体種目に力を入れているというのが伝わってきました。毎年それが楽しみなんですけど、特に4年生はいつも手話を取り入れて演技をするんですけども、そのときには本当に会場が一つになったような形で、みんなしーんとした静まり返った状態でその子供たちの演技を見入っているというとても感動的なシーンでした。

先ほど教育長さんもおっしゃいましたように、本当に澄み切った青空のもとで絶好の運動会日和でしたけれども、そういう中で子供たちが楽しく運動するという光景は本当にいいなということをつくづく思いました。やっぱりそういう姿を見ていると、日本の平和といいますか、そういうことができる平和のとうとさをしみじみと感じたわけですけども、このことが子供たちにも決して当たり前ではなくて、とうといことなんだよという感謝する気持ち、そんな気持ちを持てる子供たちに育てていくことがこれから私たちも大切ではないかなということを思いながら参観させていただいた次第です。以上です。

○ **教育委員（丹羽千明君）** おはようございます。

まず、10月1日に今渡北小学校の運動会を見学させていただきました。児童数が多いということなんですけど、大変まとまりのある、盛り上がりのある運動会でした。その中で、交通事故に遭いました児童が両親に連れられて車椅子で後半に見学に来られました。その中で、それを見た子供たちが自然に周りを取り囲んだみたいな姿を見て、すごく感動いたしました。

それから、10月8日、9日で教育長さんもおっしゃられましたけれども、「山城へ行く in 可児2016」が2日間にわたり盛大に行われたんですが、私は花フェスタの9日のときに見学させていただいたんですが、春風亭昇太さんの人気があるので大変人も多かったですけど、その中で、山城連絡協議会というのがあって、その3団体がすごくボランティアをされているということが、例えば久々利の山城の草を整地して歩きやすいようにされているということが初めてわかったんですけども、大変可児は素晴らしい活動を続けているなと思いました。

それから10月19日、共和中学校の学校訪問をさせていただきました。以上です。

○ **教育委員（星野京子君）** おはようございます。

私は、運動会は兼山小学校を参観してきました。1日延びて10月2日日曜日になったんですけど、ちょうどあいにく夜中に雨が大変降りまして、グラウンドコンディションが水たまりができてとても悪いということで、朝早くから地域の方たちも手伝って、運動会が始まるころにはとてもいいコンディションになっていたのよかったですけど、やはり兼山というと小規模の小学校で、可児市の中では地域の方たちと一緒にやるとい

う兼山ふれあい運動会ということなんですけれど、その中でも校長先生もおっしゃっていましたが、地域の方たちがとてもよく動いてくださって、やってくださったのでありがたかったということでした。

子供たちは本当にとっても元気よくて、きびきびと動いていて、すばらしいなあと思いました。やはり一番地域との触れ合いも多く、きずなも深く、とても温かい雰囲気です。やはり可児の学校というところを訪問しましても温かい雰囲気が伝わってくるんですけれど、それをとても感じた運動会でした。

それと、10月8日、9日に山城ということで、教育長も丹羽委員もお話がありましたけれど、私も久々に住んでいまして、ちょうどまちづくり委員会の方々にお話を聞いたんですけれど、本当に準備がとても大変で、1カ月ほど前からやられていて、当日も雨で準備が大変だったんですけれど、それから晴れて、とても盛大にやれてよかったです喜んでいらっしかったです。以上です。

○ **教育委員（生駒隆昌君）** おはようございます。

先ほど教育長からもお話がありましたが、10月3日に教育委員としてまた再任させていただきました。また今後4年間、一生懸命子供たちのために頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

では、前回の教育委員会以後の行事に参加したものを報告させていただきます。

10月10日に瀬田幼稚園の運動会のほうに参加してきました。可児市唯一の市立の幼稚園ということですが、本当にコンパクトながら一生懸命小さな子供たちが運動している姿を見て、やはり市としてもこういった幼稚園を残していかなきゃいけないのかなあというふうに感じました。

10月16日、健康フェアのほうを少し見学させていただきました。特別支援の子供たちが朝から一生懸命に準備して、各中学校ごとに苗とか椅子とかを運び込んで、みんなに販売をするというボランティアをやっておりましたが、本当に一生懸命支援の子供たちがつくったものを販売してやってはおるんですが、なかなかやっぱり支援学級のほうにも非常に補助金が少ないという状況が続いておりまして、そういった材料費とかもなかなか高価なものを買えないということでしたし、やっぱりそういった支援学級の子供たちが参加できる場所、健康フェアだけではなく、またほかにもそういった地域の活動のところに参加できるような場所をつくっていくのも今後の課題になってくるのかなあというふうに思いました。以上です。

○ **教育長（笹橋義朗君）** ただいま、それぞれ報告が終わりました。

示唆に富んだものがございます。また、事務局のほう、その辺を念頭にこれから事務を進めていっていただきたいと思いますので、よろしく願いします。

議事

○ **教育長（笹橋義朗君）** それでは、ただいまより議事に入ります。

○ **事務局長（長瀬治義君）** 本日の議事につきましては、以下のとおりであります。

まず、報告第9号 可児市学校給食センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱について、議案第22号 平成28年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて、議案第23号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、議案第24号 可児市教育委員会表

彰規則に基づく被表彰者の決定について、以上議案3件、報告1件です。よろしくお願いいたします。

- **教育長（笹橋義朗君）** それでは、本日の議事は4件でございます。よろしくお願いいたします。

議案第23号 要保護及び準要保護児童生徒の認定についてと議案第24号 可児市教育委員会表彰規則に基づく被表彰者の決定について及びその他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録についてに関しては、個人情報やプライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようでありますので、この件を非公開といたします。これについては、議事の進行上、最後といたしたいと思えます。

それでは、報告9号 可児市学校給食センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱についてを議題といたします。

- **教育総務課長（細野雅央君）** 説明に入ります前に、この報告第9号につきましては、星野委員と生駒委員におかれましては、自己に直接の利害関係のある案件でございまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の規定により、自己の従事する業務に直接利害関係のある事件については、その議事に参与することができなとございますが、ただし書きで教育委員会の同意があるときは会議に出席し、発言することができるとなっておりますので、その点をよろしくお願いいたします。

- **教育長（笹橋義朗君）** ただいまの説明のとおりでございますので、2委員についてはこのまま参加していただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

- **学校給食センター所長（山口好成君）** 議案書の1ページ目をごらんください。

報告第9号 可児市学校給食センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱について。

可児市学校給食センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱について、次のとおり専決処分したので、これを報告し、承認を求める。平成28年10月24日提出、可児市教育長 笹橋義朗。

記、専決処分書。

可児市教育長に対する事務委任規則第4条第2項の規定により、次のとおり専決処分する。平成28年9月30日専決、可児市教育長 笹橋義朗。

記、可児市学校給食センター運営委員会委員を次のとおり解嘱及び委嘱する。

解嘱委員、氏名、星野京子、解嘱理由、教育委員会委員充て職の交代による。解嘱日、平成28年9月30日。

委嘱委員、氏名、生駒隆昌、住所、可児市広見804番地1、委嘱理由、教育委員会委員充て職の交代による。委嘱期間、平成28年10月1日から、前任者の在任期間でございます平成29年3月31日までとなります。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

- **教育長（笹橋義朗君）** ただいま説明がありましたこれについて御質疑、意見等ございますでしょうか。

〔「ありません」の声あり〕

ないようでありますので、提案のとおりとさせていただきます。よろしくお願いいたします

す。

次に、議案第22号 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の取扱いについてを議題といたします。

○ **学校教育課長（梅村高志君）** よろしく申し上げます。

お手元の資料2ページをごらんください。

議案第22号 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の取扱いについて。

平成28年度に実施された全国学力・学習状況調査の結果は、下記とおりに取り扱うものとする。平成28年10月24日提出、可児市教育長 籠橋敏朗。

記、平成28年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて、可児市教育委員会は実施要領を前提として参加しているため、調査結果等の取扱いについても実施要領に基づき、次のとおり行うこととする。

①文部科学省から提供を受けた児童生徒に関する調査結果及び学校質問紙に関する調査結果等について、可児市情報公開条例第7条第5号の規定を根拠として、同条例における非公開情報として取り扱うこととする。

②可児市教育研究所において集計・分析した集計結果の概要及び今後の活用の方向性について、市ホームページに掲載することとする。

なお、市ホームページ掲載をする資料といたしまして、別紙1の両面のものを掲載したいと考えております。

以上でございます。

○ **教育長（籠橋義朗君）** ただいま説明をしてもらいました。

この件について、御質疑、異議等ございますでしょうか。

〔「別にないです」の声あり〕

それでは、御異議等ございませんので、原案のとおり可決をいたします。

各課所管事項

○ **教育長（籠橋義朗君）** それでは次に、各課所管事項について発言願います。

○ **事務局長（長瀬治義君）** 私のほうは特にございません。

○ **教育総務課長（細野雅央君）** 私のほうから1点ですが、現在、各学校におきまして、児童・生徒数の増減が特に目立つ学校等がございます。そういったことも加味しながら、もう一方で、次年度以降、特別支援学級への入級者の増加、これはちょうど今就学時健診を行っておる最中でございますので、どちらかといえば増加傾向にございますので、そういった教室の過不足であるとか設備面等を、次年度以降に備えて、今年度中に必要なものについてはそれなりの配慮、整備等をしていく必要がございますので、先週までに全16校を回らせていただきました。必要なものについては次年度予算に計上することもございますが、やはり動向といたしまして、児童・生徒がふえている学校と減っている学校が極端というんですか、どちらかに分かれているというような状況がございます。

それから、特別支援学級への入級者もどちらかといえば増加傾向にあるというようなことで、少しでも教育環境の向上に資するために必要な整備等は行ってまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それから1つ、きょうお手元にいじめサミットの入場券が入った封筒があるかと思ひ

ますが、人づくり課のほうからよろしくということでしたので、よろしく願いをいたします。以上です。

○ **学校教育課長（梅村高志君）** お願いいたします。

1件でございます。

今月5日には台風18号の接近によりまして市内16校で午前3時限での授業打ち切りを判断しまして、給食を終えた後に一斉下校をさせました。この日は小学校で、午後、教育研究会の授業公開が予定されておりましたが、中止といたしました。また、広陵中学校において可茂教育事務所の人事管理訪問が予定されておりましたが、これについては今週水曜日に延期されましたので、まずもって御報告いたします。

この日は、結果として幸いにも大きな影響を受けることはございませんでしたが、最悪を想定する中で、子供たちの安全を最優先に考えて判断するという原則に基づいたもので、今後においても学校現場と市教委、あるいは市の防災安全課との連携を密にしながら、あらゆる危機対応に努めていきたいと考えております。

あとにつきましては、既に委員の皆さんからもお話がありましたとおり、学校行事も順調に終わって、総じてどの学校も実りの秋にふさわしい爽やかな2学期のスタートを切ったものと喜んでおります。

学校教育課からは以上でございます。

○ **文化財課長（川合 俊君）** では、11月の予定について報告させていただきます。

11月の1カ月間、可児郷土歴史館において、本年8月に実施した大萱の弥七田古窯跡発掘調査についてのミニ展示会を開催し、窯跡の様子や出土遺物など調査からわかった最新情報を紹介いたします。

なお、その期間中の11月26日に発掘調査の担当者による弥七田古窯発掘調査報告会を久々利公民館で開催します。

11月13日には、現在開催中の荒川豊蔵資料館の企画展「美濃桃山陶の再興—大萱牟田洞～孤高の陶芸家・荒川豊蔵～」の記念講演会を久々利公民館で開催します。講師は同館の榎本徹特別顧問です。

また11月20日には、花フェスタ記念公園の農業祭の会場で宮太鼓保存会の演奏会が開催されます。

陶芸教室は第4期が11月2日に閉講し、11月29日から第5期が始まります。以上です。

○ **学校給食センター所長（山口好成君）** 特に報告、連絡事項はございませんが、本日、11月分の献立表ができましたので、お持ちをさせていただきました。お手元とのほうに届けてございますので、ごらんいただきまして、また感想等お聞かせいただければと思います。以上でございます。

○ **教育長（笹橋義朗君）** 以上、各課の説明が終わりました。

御意見等ございませんでしょうか。

○ **教育委員（小野口裕子君）** 総務課長さん、先ほどの件ですけれども、児童・生徒数の増減が両極化してきているということで、そこが著しくはっきりしてきているということが最近の傾向ということをお聞きして、やはり何か対策も考えていかなきゃいけないなあということを思いますし、本当に私たちもずうっと見てきて、特別支援学級の子供さんたちが本当に右肩上がりでどんどんふえてきていますので、その対策というのは

もう本当に迫られていると思います。そういうところへ焦点を当てていただけてありがたいなと思いますので、ぜひ必要な予算が取れるように、また課の政策会議でもいいんですけれども、ぜひよろしく願いいたします。ありがとうございます。

- **教育総務課長（細野雅央君）** 特に児童・生徒がふえている学校を訪問させていただいて、教育財産台帳で大体わかるんですけども、実際自分と両係長も一緒に随行して、やっぱり目で見て、例えば潜在的に教室として使える施設がどれだけあるのかということをしちっと把握しないと、台帳だけではただ単にペーパーの上に図面で書いてあるだけです。わからないんですけども、いざ自分たちの目で確認をすると、ああ、ここはちょっと改造すれば教室に使える、ロッカーと黒板を設置すれば使える、あるいはここはそもそも特別支援学級用につくられた教室だなという、例えば水道とかそういったものが設置されているところはそういうことを前提にしてつくられているので、ここは普通教室にはちょっと向かないなというようなことをしちっとやはり把握をした上で、必要なことは必要なこととして対応はしていくんですけども、やはり予算の関係もございますので、少ない経費で最大の効果というか、そういう成果を上げるように、まずはきちっと学校の見学と校長、教頭とのヒアリングを行ってこれから進めていこうかなと。その中で必要な修繕であるとか、改造とか、備品の備えつけ等については予算要求をしていくと段取りで考えております。以上です。
- **教育委員（星野京子君）** 今の特別支援学級のことについての関連なんですけど、人数がふえてきたというのは、やはり就学時健診とかが今、順番に回っていますけれど、そういうことから多くなったということがおわかりになったのかなということと、保護者の方もそういうことを認識していらっしゃるということもあるということでしょうか。
- **教育総務課長（細野雅央君）** 特別支援を要する子供さん方の医学的というか、そういうことはちょっと専門ではありませんが、学校の先生のいろんな話を聞くと、やはり保護者の考え方が以前と比べて変わってきたと。以前ですと、何となく特別支援学級に入級をすることに対する抵抗感みたいなものがあつたけれども、最近やはりその子のためにどっちを選択したらいいのかということをよく考えられる保護者もふえきたのかなということで、やはり特別支援教室への入級をとということも以前よりは抵抗が少なくなったということは聞きますが、ただ潜在的に6%前後というふうに言われている中で、医学的にふえるというような要素というかそういう原因もありませんので、そういう周りの意識の変化がそういうことになっているのかなというような印象を学校を回らせていただいたときに受けたというのが実感でございます。
- **教育委員（星野京子君）** ありがとうございます。保護者の意識も高くなっているんだなあということを思いますので、よろしく願います。
- **教育委員（生駒隆昌君）** 先ほども言いましたけど、健康フェアとかああいうところに支援の子たちが見えているときに、情緒も知的も同じようにその場で同じ活動をして、同じようにはやっているんですが、蘇南中を学校訪問したときに、情緒と知的ではやはり教室は分けてほしいという要望もありますし、もう1つあつたのは、例えば情緒の子が自分をコントロールできない状態になったときに、やはり避難するというか、そういう場所もつくらないと、ただ教室というだけじゃなくて、そういう子供たちに合わせ

た教室の配置とか必要な場所というのをつくってあげないと、人数割だけで教室を考えるとというよりはもっと細かく、その子供たちに合ったような状況を考えてまた教室割もつくっていただきたいと思いますし、蘇南中の場合ですと、ちょっと暗い場所であったりとか、環境面のことも少し配慮していただいて今後はやっていただきたいなというふうに思います。

ことしの予算請求の中にもありましたけど、タブレットというようなことも要求しておりますが、そういったものもやはり子供たちの状況がみんな違うという中での教材ということですので、そういったことも含めて、ただ特別支援という一つのくくりじゃなくて細かく対応していただけるとありがたいなというふうに思います。よろしくお願ひします。

○ **教育総務課長（細野雅央君）** 今、特に情緒の子の児童・生徒に対する、いわゆるクールダウンといいますか、そういう部屋とかスペースについても、明らかにここは教室としては使えないけれども、相談室であったり、中にはちょっと資材が置いてあるようなスペースもあるので、これをもうちょっと活用すればこういうスペースがつかれるよというような話もしてきましたので、今後また継続して各学校とそういった連携をとりながら、支援学級のみならず普通学級においてもいろいろ知恵を出し合って、少しでもよりよい教育環境に資するように頑張りたいと、努力してまいりたいというふうに思っております。

○ **教育長（籠橋義朗君）** 特別支援教育については、こういうふうに広がってきたというか、認識が高まってきているところで、さらに今後、今、駅前の子育て支援施設と、ソフト的には来年から始まってくるんだろうと思いますけれども、早目に手を打つと。4歳児、3歳児、またはそれ以前から手を打つということで、それで改善される子は早目に改善する。問題のある子は把握をするというようなことで、これによって数値的にふえたり減ったりするかわかりませんが、さらに一人一人に寄り添う教育ということが、小学校の1年生からできていくんだろうなというふうに思いますので、その点については市長部局のほうとも連携をとりながら今後も進めていきたいなあと考えていますので、よろしくお願ひします。

委員からの提案協議事項

○ **教育長（籠橋義朗君）** それでは、次に各委員からの提案協議事項についてお願ひしたいと思います。

どうでしょうか。

〔「ありません」の声あり〕

その他

○ **教育長（籠橋義朗君）** 教育委員会表彰の件もありますので、ちょっと時間が詰まっておりますので、それでは次のその他に入りたいと思います。

次回の日程等を、教育総務課長。

○ **教育総務課長（細野雅央君）** 次回は11月21日月曜日午前9時から、場所はきょうと同じ4階の第3会議室ということでよろしくお願ひをいたします。

それから12月でございますが、議会との兼ね合いもございますが、一般質問、常任委員会等が終わった後になります。12月19日月曜日午前9時を考えおりますが、いかがでしょうか。

〔「大丈夫です」の声あり〕

○ **教育総務課長（細野雅央君）** じゃあ、12月は19日月曜日9時ということで、一応今のところこの4階第3会議室を押さえてございますので、御予定のほうをよろしくお願いたします。以上です。

○ **教育長（笹橋義朗君）** それでは、このように予定されましたので、よろしくお願をします。

それでは、この後教育政策会議を挟みますので、ここで一旦中断をしたいと思います。9時50分から教育政策会議を行いたいと思いますので、よろしくお願します。

（文化財課長、給食センター所長退席）

中断 午前9時41分

再開 午前11時00分

○ **教育長（笹橋義朗君）** それでは、引き続き教育委員会を再開いたします。

（以下非公開）

（以上非公開）

閉会の宣告

○ **教育長（笹橋義朗君）** 以上をもちまして、きょうのかかっていた課題については、全部終わりました。ありがとうございました。

これをもちまして教育委員会会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

閉会 午後0時05分